

美術	課題分析 (学力調査結果、定期考査、授業の実態等)	授業改善策	新学習指導要領に向けて (移行措置対応を含む)
1年	<p>【美術への関心・意欲・態度】 ○積極的に作業する生徒が多いが、進んでいる生徒と遅れている生徒の差が開いている。</p> <p>【創造的な技能】 ○完成度を高める前に完成とみなし、提出してしまう生徒がいる。</p>	<p>【美術への関心・意欲・態度】 ○生徒一人一人が作業手順を理解し、その制作過程に応じた作業がスムーズにできるよう、プリントの活用や机間巡視でアドバイスなどする。</p> <p>【創造的な技能】 ○どのように手を加えれば完成度が上がるかということをおアドバイスする。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学び】 ○授業で学習したことが、これからの自分たちの生活の中で生きてくるとい実感を持てるよう指導する。</p>
2年	<p>【美術への関心・意欲・態度】 ○集中して丁寧に作業する生徒が多い。</p> <p>【発想や構想の能力】 ○自ら工夫して独創的な発想をする力にやや欠ける。</p> <p>【創造的な技能】 ○制作は丁寧であるが、失敗を恐れて小さい表現になってしまっている。</p>	<p>【発想や構想の能力】 ○発想には正解や不正解というものがないことを伝え、安心して自由に発想させる。浮かんできたアイデアを聞き、具体的なアドバイスを行う。</p> <p>【創造的な技能】 ○制作前、制作中に随時、技術面のアドバイスを行う。また、失敗したときの対処法も教える。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学び】 ○感性や想像力などを豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞したりするなど資質・能力を相互に関連させながら育成する。</p>
3年	<p>【美術への関心・意欲・態度】 ○課題を意識し、創意工夫して作業する生徒も多いが、気分に流されやすく粘り強く取り組めない生徒もいる。</p> <p>【創造的な技能】 ○制作の要点を理解している生徒とそうでない生徒の差がある。</p>	<p>【美術への関心・意欲・態度】 ○制作過程で次にすべきことを明確にして、机間巡視で具体的なアドバイスを個別に行う。</p> <p>【創造的な技能】 ○作品制作を実演して見せ、どこが要点なのかを分かりやすくする。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学び】 ○生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに関わる態度を育成する。</p>